

# 母ら依頼 甲状腺検査

柴田・仙台のキリスト教系団体に依頼

## 小中学生ら50人が参加

東京電力福島第1原発事故による子どもたちへの影響を調べる甲状腺エコー検査が8日、柴田町であった。

健康への影響を心配する母親団体が「日本キリスト教団東北教区放射能問題支援対策室いずみ(仙台市)に依頼し、同室とし

ては同町で初めて実施した。

事前に予約した同町や岩沼市、角田市の小中学生ら約50人が参加。検査は仙台市の小児科医大塚純一さんが担当し、首に超音波機器を当てて嚢胞(のうほう)の有無などを調べ

た。

検査は柴田町の子育て中の母親でつくる「mama(ママ)茶くらぶ」が依頼した。代表の小林椋子さん(36)の6〜17歳の子ども3人も検査を受け、異常はなかったという。小林さんは「検査結果を



聞き、とても安心できた。不安を抱いている母親たち

は多く、異常の有無が分かるだけでも安心感につながる

。継続して検査してほしいと話した。

首に超音波機器を当てて異常の有無を確認した